

1

解答解説のページへ

座標空間内に 3 点 $O(0, 0, 0)$, $A(3, 3, 0)$, $B(0, 6, 0)$ をとり, さらに $1 < a < 3$ を満たす定数 a に対して点 $P(t, ta, ta)$ をとる。ただし, t は $t > 0$ の範囲を動くものとする。次の問いに答えよ。

- (1) 点 P から xy 平面に垂線 PH を下ろす。点 H の座標を求めよ。
- (2) 点 H が線分 AB 上にあるときの t の値を求め, そのときの点 H の座標を a を用いて表せ。

以下, 点 H は線分 AB 上にあるとする。

- (3) 点 M を線分 AB の中点とする。 $AH : HM$ の比の値 $\frac{AH}{HM}$ を求めよ。
- (4) 四面体 $OPMH$ の体積が 2 となるような a の値を求めよ。

2

解答解説のページへ

平面上の 2 つの曲線 $C_1 : x^2 + (y-5)^2 = 16$, $C_2 : y = \frac{1}{4}x^2$ を考える。次の問いに答えよ。

- (1) C_1 と C_2 の共有点の座標を求めよ。
- (2) C_1 と C_2 を同一平面上に図示せよ。
- (3) C_1 と C_2 で囲まれた図形の面積を求めよ。

3

解答解説のページへ

A, B, C の 3 人がそれぞれ 1 個ずつのサイコロを同時に投げ、出た目の大きさの順に $x_1 \leq x_2 \leq x_3$ とする。 $x_1 = x_2 = x_3$ のときは、もう一度 3 人でサイコロ投げを行う。 $x_1 \leq x_2 < x_3$ のときは、 x_3 を出した者が勝者となり、サイコロ投げを終了する。 $x_1 < x_2 = x_3$ のときは、 x_1 を出した者は去り、残りの 2 人で異なる目が出るまでサイコロ投げを続け、大きい目を出した者が勝者となり、サイコロ投げを終了する。次の問いに答えよ。

- (1) 1 回目のサイコロ投げで A が 3 を出して勝者となる場合の数を求めよ。
- (2) 1 回目のサイコロ投げで A が勝者となる場合の数を求めよ。
- (3) 1 回目のサイコロ投げで勝者が決まる場合の数を求めよ。
- (4) 2 回目のサイコロ投げで勝者が決まる場合の数を求めよ。

1

問題のページへ

(1) 点 $P(t, ta, ta)$ から xy 平面に垂線 PH を下ろしたとき、点 H の座標は $H(t, ta, 0)$ となる。

(2) $A(3, 3, 0)$, $B(0, 6, 0)$ に対し、線分 AB は、

$$x + y = 6 \quad (0 \leq x \leq 3), \quad z = 0 \cdots \cdots \textcircled{1}$$

点 H が線分 AB 上にあるので、 $\textcircled{1}$ より、

$$t + ta = 6 \quad (0 \leq t \leq 3) \cdots \cdots \textcircled{2}$$

すると、 $\textcircled{2}$ より $t = \frac{6}{a+1}$ となり、 $1 < a < 3$ から $\frac{3}{2} < \frac{6}{a+1} < 3$

であるので、線分 AB 上にあることがわかる。

よって、 $t = \frac{6}{a+1}$, $H\left(\frac{6}{a+1}, \frac{6a}{a+1}, 0\right)$ である。

(3) 線分 AB の中点 M は、 $M\left(\frac{3}{2}, \frac{9}{2}, 0\right)$ となり、

$$AH : HM = \left(3 - \frac{6}{a+1}\right) : \left(\frac{6}{a+1} - \frac{3}{2}\right) = \frac{3(a-1)}{a+1} : \frac{3(3-a)}{2(a+1)}$$

よって、 $\frac{AH}{HM} = \frac{2(a-1)}{3-a}$ である。

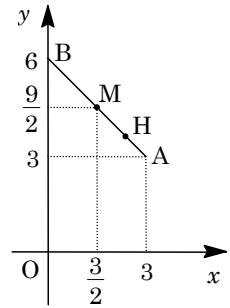
(4) (3) から、 $HM : AB = \frac{3(3-a)}{2(a+1)} : 3 = \frac{3-a}{2(a+1)} : 1$ なので、

$$\triangle OHM = \frac{3-a}{2(a+1)} \triangle OAB = \frac{3-a}{2(a+1)} \cdot \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot 3 = \frac{9(3-a)}{2(a+1)}$$

さて、四面体 $OPMH$ の体積は 2 なので、 $PH = \frac{6a}{a+1}$ から、

$$\frac{1}{3} \cdot \frac{9(3-a)}{2(a+1)} \cdot \frac{6a}{a+1} = 2, \quad 9a(3-a) = 2(a+1)^2, \quad 11a^2 - 23a + 2 = 0$$

すると、 $(11a-1)(a-2) = 0$ となり、 $1 < a < 3$ から $a = 2$ である。



[解説]

空間座標に関する基本的な問題です。

2

問題のページへ

(1) $C_1 : x^2 + (y-5)^2 = 16 \cdots \cdots \textcircled{1}$, $C_2 : y = \frac{1}{4}x^2 \cdots \cdots \textcircled{2}$ に対し, $\textcircled{1}\textcircled{2}$ を連立すると,

$$4y + (y-5)^2 = 16, \quad y^2 - 6y + 9 = 0$$

すると, $(y-3)^2 = 0$ から $y = 3$ となり, $\textcircled{2}$ より $x = \pm 2\sqrt{3}$

よって, C_1 と C_2 の共有点の座標は, $(2\sqrt{3}, 3)$, $(-2\sqrt{3}, 3)$ である。

(2) C_1 の中心を $A(0, 5)$, C_1 と C_2 の共有点を P, Q と

おき C_1, C_2 を図示すると, 右図のようになる。

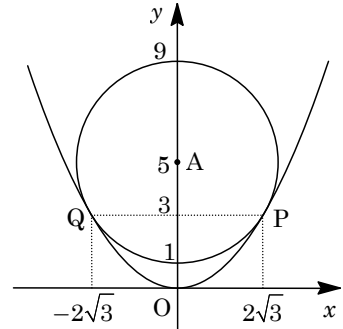
(3) (2) から, 線分 AP の傾きが $-\frac{1}{\sqrt{3}}$ となるので,

$$\angle OAP = \frac{\pi}{3}$$

ここで, C_1 と C_2 で囲まれた図形の面積を S とすると, y 軸に関する対称性より,

$$\begin{aligned} \frac{S}{2} &= \frac{1}{2}(3+5) \cdot 2\sqrt{3} - \int_0^{2\sqrt{3}} \frac{1}{4}x^2 dx - \frac{1}{2} \cdot 4^2 \cdot \frac{\pi}{3} \\ &= 8\sqrt{3} - \frac{1}{12} [x^3]_0^{2\sqrt{3}} - \frac{8}{3}\pi = 8\sqrt{3} - 2\sqrt{3} - \frac{8}{3}\pi = 6\sqrt{3} - \frac{8}{3}\pi \end{aligned}$$

よって, $S = 12\sqrt{3} - \frac{16}{3}\pi$ である。



[解説]

円と放物線の問題を題材とした基本問題です。また, (3)の面積は, 台形を利用すると, 簡単な計算で求まります。

3

問題のページへ

- (1) A, B, C がサイコロを同時に投げるとき、出た目をそれぞれ a, b, c とする。
 さて、1 回目のサイコロ投げで A が 3 を出して勝者となるのは、 $a = 3, b \leq 2, c \leq 2$ のときで、その場合の数は、 $1 \times 2^2 = 4$ である。
- (2) 1 回目のサイコロ投げで A が勝者となるのは、 $a = k (2 \leq k \leq 6)$ の場合、 $b \leq k - 1, c \leq k - 1$ のときで、その場合の数は、

$$1 \times 1^2 + 1 \times 2^2 + 1 \times 3^2 + 1 \times 4^2 + 1 \times 5^2 = 55$$

- (3) 1 回目のサイコロ投げで、B, C が勝者となる場合も同様なので、1 回目で勝者が決まる場合の数は、(2)より、 $55 \times 3 = 165$ である。
- (4) 2 回目のサイコロ投げで勝者が決まるのは、次の場合がある。

(i) 1 回目のサイコロ投げで $a = b = c$ のとき

1 回目は 6 通り、そして 2 回目で勝者が決まるのは、(3)から 165 通りずつであり、この場合の数は、 $6 \times 165 = 990$ である。

(ii) 1 回目のサイコロ投げで $a = b > c$ のとき

1 回目は $a = b = k (2 \leq k \leq 6), c \leq k - 1$ のときで、その場合の数は、

$$1^2 \times 1 + 1^2 \times 2 + 1^2 \times 3 + 1^2 \times 4 + 1^2 \times 5 = 15$$

2 回目は A と B でサイコロを投げ、どちらかが勝者となるのは、異なる目が出たときなので、その場合の数は $6^2 - 6 = 30$ である。

よって、このとき 2 回目で勝者が決まる場合の数は、 $15 \times 30 = 450$ である。

(iii) 1 回目のサイコロ投げで $a = c > b$ のとき (ii)と同じく 450 通りある。

(iv) 1 回目のサイコロ投げで $b = c > a$ のとき (ii)と同じく 450 通りある。

(i)～(iv)より、2 回目で勝者が決まる場合の数は、 $990 + 450 \times 3 = 2340$ である。

[解説]

場合の数に関する基本問題です。誘導も丁寧すぎるほどです。